

こどもが主役の街「キッズニア甲子園」に
アーケードサポーターとして
日本山村硝子が「ガラス工房」を出展
2009年3月 兵庫県 ららぽーと甲子園に開業予定

株式会社キッズシティージャパン

2009年3月、兵庫県西宮市のららぽーと甲子園に開業予定の“こどもが主役の”「キッズニア甲子園(KidZania Koshien)」の企画・開発を行う、株式会社キッズシティージャパン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼CEO:住谷 栄之資、以下キッズシティージャパン)と、日本山村硝子株式会社(本社:兵庫県西宮市 代表取締役社長:山村 幸治、以下 日本山村硝子)は、「キッズニア甲子園」のアーケードサポーターとして「ガラス工房」出展に関し合意いたしました。

キッズニアのコンセプトは、「エデュケーション(学び)」と「エンターテインメント(楽しさ)」を合わせた、『エデュテインメント』です。そのコンセプトを具現化するために、施設内には現実社会のほぼ2/3のサイズで造られた、実在する企業が様々な形で出展するパビリオンが、リアルな街並みを形成します。こども達はその街の中で実社会に近い様々な職業や習い事などを体験することで、楽しみながら社会や職業・経済を学ぶことができます。「キッズニア」は、実社会を限りなくリアルに再現することで、その地域の国民性や文化、産業・経済構造までを包含し、こども達にとって最高の社会体験の題材となることを目指して常に進化・変化しております。キッズニア甲子園は、広さやパビリオン数等、2006年10月に日本に初めてオープンしたキッズニア東京とほぼ同様のスケールを予定しています。

今回出展する「ガラス工房」は、こども達がガラス職人として、コップやびんなどに自分で考えたオリジナルのデザインモチーフを使い、世界にひとつしかない自分だけのガラスグッズを制作できるアクティビティを予定しています。キッズニアはこども達がガラスグッズにオリジナルのデザインをする体験を通じて、こども達ならではの自由な発想や豊かな創造力を発揮してもらうことを期待しています。

日本山村硝子株式会社、キッズシティージャパンの会社概要およびキッズニア甲子園の施設概要については、次頁をご覧ください。

※本リリースは、当社より関西レジャー記者クラブに配布しております。

日本山村硝子株式会社より神戸経済記者クラブにて、同様の内容をご案内させていただきます。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社キッズシティージャパン
広報部 上田、中田
〒100-0051 東京都千代田区有楽町1-7-1
TEL:03-3215-7713 FAX:03-3215-7712
Mail:press@kidzania.jp

□日本山村硝子株式会社 会社概要

名 称	: 日本山村硝子株式会社
本 社 所 在 地	: 兵庫県西宮市浜松原町2-21
代 表 者	: 代表取締役社長: 山村 幸治
設 立	: 1914年4月5日
資 本 金	: 140億円(2008年7月1日現在)
事 業 内 容	: ガラスびん・プラスチック容器の製造・販売 製びん関連設備の製作・販売 粉末ガラス・ガラスペースト等の製造・販売
U R L	: www.yamamura.co.jp/

□キッズシティージャパン 会社概要

社 名	: 株式会社キッズシティージャパン
本 店 所 在 地	: 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館2階
代 表 者	: 代表取締役社長兼CEO 住谷 栄之資
設 立	: 2004年9月27日
資 本 金	: 2億5,200万円(2007年4月27日現在)

□キッズニア甲子園 施設概要

施 設 名	: キッズニア甲子園(KidZania Koshien)
所 在 地	: 兵庫県西宮市甲子園八番町1-100「ららぽーと甲子園」
開 業 予 定 日	: 2009年3月
延 床 面 積	: 約1,800坪(約6,000㎡)
パビリオン数	: 約 50
年 間 来 場 者 数	: 年間約80万人(推定)
営 業 日	: 不定休
U R L	: キッズニア甲子園オフィシャルサイト www.kidzania.jp/koshien



キッズニアとは:

施設内には、消防署、病院、運転免許試験場、銀行、飛行機、ラジオ局、理容店、ピザショップなどのパビリオンが立ち並び、こどもの街を形成します。1999年に誕生したメキシコのキッズニアは、年間来場者数82万人、227日間満員記録を樹立するなど、そのユニークなコンセプトが社会的にも高く評価されています。2006年10月5日に、東京のアーバンドック ららぽーと豊洲内に日本で初めてオープンした「キッズニア東京」は、2006年10月のオープン以来、2008年9月までに約175万人を超える来場者を迎えました。大成功を収めているメキシコでの運営システムをベースとし、61社(※1)ものスポンサー企業に支えられながら日本のこども達をとりまく環境や「こども議会」(※2)のアイデアなどを反映し、未来の社会を担うこども達のためのエデュテインメントタウン(※3)を目指しています。

※1 2008年11月末現在のキッズニア東京スポンサー数

※2 こどもが主役の街「キッズニア」をより良くするために活動しているグループ

※3 エデュテインメント=エデュケーション(学び)+エンターテインメント(楽しさ)